



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 古河機械金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中戸川 稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田近 強 TEL 03-6636-9502
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	47,472	△9.8	2,761	25.9	4,267	23.4	2,434	3.5
2023年3月期第1四半期	52,611	15.3	2,192	0.3	3,459	29.8	2,351	59.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,057百万円 (264.4%) 2023年3月期第1四半期 1,387百万円 (△36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	63.87	—
2023年3月期第1四半期	60.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	241,987	109,175	43.8
2023年3月期	232,745	106,050	44.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 106,004百万円 2023年3月期 102,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	92,000	△12.0	3,700	9.7	3,700	△29.1	11,600	236.4	304.33
通期	184,500	△13.9	9,200	1.9	9,200	△1.6	15,300	146.3	401.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	40,445,568株	2023年3月期	40,445,568株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,329,617株	2023年3月期	2,329,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	38,115,979株	2023年3月期1Q	38,823,615株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
2024年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	52,611	47,472	△5,138
営業利益(百万円)	2,192	2,761	568
経常利益(百万円)	3,459	4,267	808
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,351	2,434	83

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から同年6月30日まで)の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。サービス消費やインバウンド需要の回復を受け、非製造業では増益が続いていますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の減速が製造業の収益を下押ししました。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、474億72百万円(対前年同期比51億38百万円減)、営業利益は、27億61百万円(対前年同期比5億68百万円増)となりました。ロックドリル部門およびユニック部門は増収増益となり、産業機械部門は減収減益となりましたが、機械事業全体では、増収増益となりました。素材事業では、電子部門および化成品部門は減収減益となりましたが、金属部門は減収増益となり、全体では減収増益となりました。また、不動産事業は減収減益となりました。営業外収益に為替差益9億50百万円ほかを計上した結果、経常利益は、42億67百万円(対前年同期比8億8百万円増)となりました。特別損失に古河大阪ビルの解体工事費用4億58百万円ほかを計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億34百万円(対前年同期比83百万円増)となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

〔産業機械〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	3,640	2,348	△1,292
営業利益(百万円)	75	△4	△80

産業機械部門の売上高は、23億48百万円(対前年同期比12億92百万円減)、営業損失は、4百万円(前年同期は75百万円の利益)となりました。当第1四半期連結会計期間末の受注残高は、橋梁において八王子南バイパス大船寺田高架橋などの受注があり、前連結会計年度末に比べ増加しました。売上高については、マテリアル機械が本体の販売減により減収となり、ポンプ製品およびポンプ設備についても減収となりました。コントラクタ事業は、橋梁の東海環状大安高架橋や新子安歩道橋などについて、出来高に対応した売上高を計上しましたが、大型プロジェクト案件の工事減により、減収となりました。

〔ロックドリル〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	7,619	9,350	1,731
営業利益(百万円)	431	961	530

ロックドリル部門の売上高は、93億50百万円(対前年同期比17億31百万円増)、営業利益は、9億61百万円(対前年同期比5億30百万円増)となりました。国内については、トンネルドリルジャンボ本体の出荷増および整備事業の受注増により、増収となりました。海外については、油圧ブレーカの北米への出荷増、油圧クローラドリルの中東への出荷増に加え、円安による増収効果もあり、増収となりました。

〔ユニック〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	6,917	7,167	249
営業利益(百万円)	433	446	13

ユニック部門の売上高は、71億67百万円(対前年同期比2億49百万円増)、営業利益は、4億46百万円(対前年同期比13百万円増)となりました。国内については、近年発生していた電子部品や海外部品の調達難に伴うトラックの生産遅延が回復傾向となり、トラック供給台数が増加したことにより、ユニッククレーンの出荷が増加し、増収となりました。海外については、中国、中東、オセアニアおよび東南アジア地域においてユニッククレーンの出荷が減少し、減収となりました。

《機械事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	18,177	18,866	688
営業利益(百万円)	940	1,404	463

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、188億66百万円(対前年同期比6億88百万円増)、営業利益は、14億4百万円(対前年同期比4億63百万円増)となりました。

〔金 属〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	28,832	23,049	△5,782
営業利益(百万円)	612	933	320

金属部門の売上高は、230億49百万円(対前年同期比57億82百万円減)、営業利益は、9億33百万円(対前年同期比3億20百万円増)となりました。電気鋼の海外相場は、8,966米ドル/トンで始まり、4月半ばには9,000米ドル/トン台まで上昇したものの、米国の追加利上げ観測と、中国需要低迷の兆しにより、期末には8,210米ドル/トンとなりました。電気鋼の生産および販売数量は、2023年3月末をもって小名浜製錬株式会社との間で締結していた委託製錬契約を終了したことにより、減少しました。

〔電 子〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	1,867	1,765	△102
営業利益 (百万円)	208	173	△35

電子部門の売上高は、17億65百万円（対前年同期比1億2百万円減）、営業利益は、1億73百万円（対前年同期比35百万円減）となりました。高純度金属ヒ素は、国内外ともに主要用途である化合物半導体用向け市場が未だ在庫調整期にあり、また、窒化アルミセラミックスは、基板用材料やフィルター用途向けの需要が旺盛だったものの、半導体製造装置用部品向けの需要が低迷し、減収となりました。コイルは、半導体不足が解消されつつある自動車生産の回復により、増収となりました。

〔化成品〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	2,348	2,341	△6
営業利益 (百万円)	243	211	△32

化成品部門の売上高は、23億41百万円（対前年同期比6百万円減）、営業利益は、2億11百万円（対前年同期比32百万円減）となりました。酸化銅は、パソコン、スマートフォン向けの需要が減少し、減収となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が回復したことにより、増収となりました。

《素材事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	33,047	27,156	△5,891
営業利益 (百万円)	1,064	1,318	253

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、271億56百万円（対前年同期比58億91百万円減）、営業利益は、13億18百万円（対前年同期比2億53百万円増）となりました。

〔不動産〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	531	443	△88
営業利益 (百万円)	202	112	△89

不動産事業の売上高は、4億43百万円（対前年同期比88百万円減）、営業利益は、1億12百万円（対前年同期比89百万円減）となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）は、商業施設については、コロナ禍前の水準には達していないものの、売上げ、来館者数ともに回復基調にあります。賃料収入全体としては、事務所テナントの減床などにより、減収となりました。

〔その他〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	854	1,006	152
営業利益（百万円）	4	△60	△64

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を行っています。売上高は、10億6百万円（対前年同期比1億52百万円増）、営業損失は、60百万円（前年同期は4百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	対前連結会計年度末増△減
総資産（百万円）	232,745	241,987	9,242
負債（百万円）	126,695	132,812	6,117
（うち有利子負債 （百万円））	62,848	68,471	5,622
純資産（百万円）	106,050	109,175	3,124
自己資本比率（%）	44.2	43.8	△0.4

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,419億87百万円で、前連結会計年度末に比べ92億42百万円増加しました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、また、上場株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。有利子負債（借入金）は、684億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億22百万円増加しました。純資産は、1,091億75百万円で、前連結会計年度末に比べ31億24百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月29日に公表しました業績予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,606	17,593
受取手形、売掛金及び契約資産	35,502	26,683
商品及び製品	18,705	20,083
仕掛品	12,213	13,831
原材料及び貯蔵品	15,584	19,660
その他	4,318	7,241
貸倒引当金	△47	△45
流動資産合計	99,882	105,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,435	23,068
土地	53,910	53,920
その他（純額）	13,636	14,149
有形固定資産合計	90,981	91,138
無形固定資産	317	352
投資その他の資産		
投資有価証券	34,711	38,685
その他	7,622	7,576
貸倒引当金	△769	△813
投資その他の資産合計	41,563	45,448
固定資産合計	132,862	136,939
資産合計	232,745	241,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,397	14,644
電子記録債務	9,244	9,497
短期借入金	16,607	21,631
未払法人税等	1,711	444
引当金	202	305
その他	20,947	20,986
流動負債合計	63,111	67,510
固定負債		
長期借入金	46,240	46,840
引当金	97	20
退職給付に係る負債	2,481	2,119
資産除去債務	228	230
その他	14,534	16,092
固定負債合計	63,583	65,302
負債合計	126,695	132,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
資本剰余金	2	2
利益剰余金	58,847	59,376
自己株式	△3,086	△3,086
株主資本合計	83,971	84,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,320	15,257
繰延ヘッジ損益	△77	△606
土地再評価差額金	2,582	2,582
為替換算調整勘定	1,564	1,718
退職給付に係る調整累計額	2,584	2,551
その他の包括利益累計額合計	18,974	21,503
非支配株主持分	3,103	3,170
純資産合計	106,050	109,175
負債純資産合計	232,745	241,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
売上高	52,611	47,472
売上原価	45,785	39,902
売上総利益	6,826	7,570
販売費及び一般管理費	4,633	4,808
営業利益	2,192	2,761
営業外収益		
受取配当金	424	500
為替差益	1,047	950
その他	181	501
営業外収益合計	1,652	1,952
営業外費用		
支払利息	118	119
休鉱山管理費	187	216
その他	80	109
営業外費用合計	386	446
経常利益	3,459	4,267
特別利益		
投資有価証券売却益	51	28
その他	4	1
特別利益合計	55	30
特別損失		
賃貸ビル解体費用	47	458
その他	76	56
特別損失合計	124	514
税金等調整前四半期純利益	3,389	3,783
法人税、住民税及び事業税	891	417
法人税等調整額	97	859
法人税等合計	988	1,277
四半期純利益	2,401	2,506
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,351	2,434

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,401	2,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△746	2,938
繰延ヘッジ損益	△1,039	△500
為替換算調整勘定	641	154
退職給付に係る調整額	△35	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	166	△8
その他の包括利益合計	△1,013	2,550
四半期包括利益	1,387	5,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,286	4,963
非支配株主に係る四半期包括利益	101	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,640	7,619	6,917	28,832	1,867	2,348
セグメント間の 内部売上高又は振替高	737	0	35	70	—	13
計	4,378	7,619	6,953	28,902	1,867	2,362
セグメント利益又は損失 (△)	75	431	433	612	208	243

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	531	51,757	854	52,611	—	52,611
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	860	431	1,292	△1,292	—
計	534	52,618	1,285	53,903	△1,292	52,611
セグメント利益又は損失 (△)	202	2,207	4	2,211	△18	2,192

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	2,348	9,350	7,167	23,049	1,765	2,341
セグメント間の 内部売上高又は振替高	796	1	93	58	—	14
計	3,144	9,352	7,260	23,108	1,765	2,355
セグメント利益又は損失 (△)	△4	961	446	933	173	211

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	443	46,465	1,006	47,472	—	47,472
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	966	469	1,436	△1,436	—
計	445	47,432	1,476	48,909	△1,436	47,472
セグメント利益又は損失 (△)	112	2,835	△60	2,775	△13	2,761

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2024年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2023年8月9日
古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位：百万円 単位未満切捨て)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	18,177	18,866	688
産業機械部門	3,640	2,348	△1,292
ロックドリル部門	7,619	9,350	1,731
ユニック部門	6,917	7,167	249
素材事業	33,047	27,156	△5,891
金属部門	28,832	23,049	△5,782
電子部門	1,867	1,765	△102
化成品部門	2,348	2,341	△6
不動産事業	531	443	△88
その他	854	1,006	152
【合計】	52,611	47,472	△5,138

2024年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
40,900	966	87,000	5,341
6,400	△1,462	18,500	556
19,600	1,596	36,000	247
14,900	832	32,500	4,538
48,100	△13,864	91,600	△35,204
39,900	△14,003	74,800	△36,624
3,600	△0	7,700	773
4,600	138	9,100	645
900	△167	1,700	△356
2,100	489	4,200	528
92,000	△12,576	184,500	△29,690

〔営業利益〕

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	940	1,404	463
産業機械部門	75	△4	△80
ロックドリル部門	431	961	530
ユニック部門	433	446	13
素材事業	1,064	1,318	253
金属部門	612	933	320
電子部門	208	173	△35
化成品部門	243	211	△32
不動産事業	202	112	△89
その他	4	△60	△64
(計)	2,211	2,775	563
調整額	△18	△13	5
【合計】	2,192	2,761	568

2024年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
2,700	817	7,400	1,306
100	86	1,500	△15
1,700	642	3,100	69
900	88	2,800	1,252
900	△275	1,600	△709
300	△192	500	△776
200	△121	400	△100
400	38	700	167
200	△224	400	△435
△100	△40	△150	△16
3,700	277	9,250	145
0	50	△50	23
3,700	327	9,200	168

〔為替・銅価〕

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期増減
為替 円/\$	129.6	137.4	7.8
銅価 \$/mt	9,526	8,478	△1,048

2024年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
136.2	2.2	135.6	0.1
8,239	△395	8,120	△431

※参考情報 (以下の数値は参考値です)

1. 産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当第1四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2023年3月期 第1四半期会計期間末	2024年3月期 第1四半期会計期間末	対前年同期増減
受注残	122億円	163億円	41億円

2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2023年3月期 第1四半期累計期間	2024年3月期 第1四半期累計期間	対前年同期増減
営業利益	6.1億円	9.3億円	3.2億円
内価影響分	6.3億円	7.0億円	0.6億円
銅	(2.4億円)	(3.0億円)	(0.5億円)
金	(3.7億円)	(3.6億円)	(△0.0億円)